

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成29年3月21日

計画の名称	1 災害予防・減災のための着実な基盤づくりの推進による安全・安心社会と、良好な水辺環境の再生による快適な暮らしの実現（防災・安全）緊急対策			
計画の期間	平成26年度～平成26年度（1年間）	交付対象	和歌山県	
計画の目標				

近年ゲリラ豪雨や浸水被害が多発していることより、洪水による浸水被害の軽減対策を行い、地域における社会基盤の安全・安心を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

・近年の浸水被害をもたらした洪水規模、もしくは将来計画規模までの整備が効率的な場合はその規模に対応した河川整備を実施し、河川の整備率を19%(H25当初)から57%(H26末)に推進。

定量的指標の定義及び算定式

① 近年の浸水被害をもたらした洪水規模、もしくは将来計画規模までの整備が効率的な場合はその規模に対応した河川整備率（整備延長/計画整備延長）	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	
	19%		57%	

  

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,650 百万円	A	1,650 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期	事業完了後
和歌山県において評価を実施	公表の方法	和歌山県ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 河川事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名			事業実施期間（年度）				
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	河川	一般	和歌山県	直接	-	広域河川2	改修	太田川水系太田川広域河川改修事業	築堤、掘削	那智勝浦町						700	
1-A-2	河川	一般	和歌山県	直接	-	水防災1	改修	新宮川水系熊野川土地利用一体型水防災事業	築堤、掘削	田辺市・新宮市						250	
1-A-3	河川	一般	和歌山県	直接	-	広域系2	改修	熊野川圏域総合流域防災事業	佐野川外1河川	新宮市・那智勝浦町						400	
1-A-4	河川	一般	和歌山県	直接	-	広域河川2	改修	左会津川住宅地基盤特定治水施設等整備事業	築堤、護岸	田辺市						300	
合計																1,650	

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・各河川の洪水規模に対応した河川整備を実施し、河川整備率を19%から38%に推進した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（河川整備率）	最終目標値	57%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成に必要な事業費を確保できず、次期計画にて継続実施することとしたため。
		最終実績値	38%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・厳しい財政状況の中、必要な事業費が確保できず目標値を下回る結果となったが、優先順位に基づき、計画的に洪水による浸水被害の軽減対策を実施することにより、本計画の目標である地域における社会基盤の安全・安心の確保について、一定の効果をあげることができた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考図面)

計画の名称	1 災害予防・減災のための着実な基盤づくりの推進による安全・安心社会と、良好な水辺環境の再生による快適な暮らしの実現 (防災・安全) 緊急対策		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成26年度 (1年間)	交付対象	和歌山県

